

# 「火の用心だより」

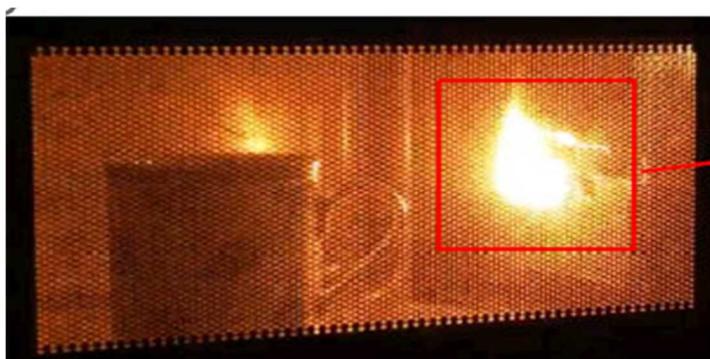
第120号(令和7年3月)

発行：札幌市消防局予防部予防課

## 火災に注意！電子レンジを安全に使用しましょう。

生活に欠かせないほど便利な「電子レンジ」ですが、使用方法を誤ったり、定期的に清掃しないと、故障や火災の原因となります。

今一度、電子レンジの使用方法を確認しましょう。



【レンジ内の油に引火した様子】



【付着した汚れが炭化し発火する様子】

### 【火災予防のためのチェックポイント】

- 金属容器やアルミホイルを加熱すると、火花が発生し、火災の原因になるので、**金属類は絶対に加熱しない。**
- レンジ内が汚れていると、発煙や発火の危険性があるので、**定期的に清掃する。**



### 【火災になった場合】

- ① 感電の恐れがあるため、すぐに水はかけず、電子レンジの**扉は開けずにコンセントを抜く。**
- ② **扉を閉めたまま**、あわてず、電子レンジ内の様子を見る。
- ③ 火が消えていなければ、**扉を閉めたまま**、消火器などの消火用具を準備する。



**※万が一、火災が発生したときは、すぐに119番通報してください！！**

## 家電製品

電子レンジ等の家電製品は、**不適切な使用によって火災に至る場合があります。**

### ▶ 食品の加熱のしすぎにより発火

食品を電子レンジで加熱しすぎると、水分が蒸発し炭化して発火します。電子レンジで焼き芋を作るレシピなどが紹介されていますが、レンジ調理によっては火災につながることを覚えておきましょう。



### ▶ アルミ包装がスパークにより発火

アルミなどの金属が使われた容器や、袋などを電子レンジで加熱すると、スパークを起し、発火する場合があります。ホーロー製の容器なども電子レンジで使用できるか確認が必要です。



### ▶ 油汚れにより発火

電子レンジ内の掃除を怠り、油汚れなどを放置していると、炭化し急に発火する場合があります。



### ▶ 清掃時の不注意により発火(エアコン)

エアコンの清掃中に誤って洗浄液を電気配線にかけてしまい、拭き取ることなく稼働させると、配線がショートし発火する場合があります。



## 火災予防対策とまとめ

家電製品も使用方法を誤れば、火災につながります。電子レンジでは、**長時間の加熱に気をつける。温めるものに金属性のものがないか確認する。こまめな清掃を行う。**など、適切な使用と適切な維持管理を心がけましょう。

出典：消防庁ホームページ(<https://www.fdma.go.jp/>)

「住宅における電気火災の原因と予防対策 リーフレット」

(消防庁：[https://www.fdma.go.jp/publication/movie/juutaku\\_bouka/items/r06\\_denkikasai\\_leaflet.pdf](https://www.fdma.go.jp/publication/movie/juutaku_bouka/items/r06_denkikasai_leaflet.pdf)) を加工して作成

総務省消防庁のホームページにて詳しく動画で解説しています！

こちらを Check! ▶▶▶

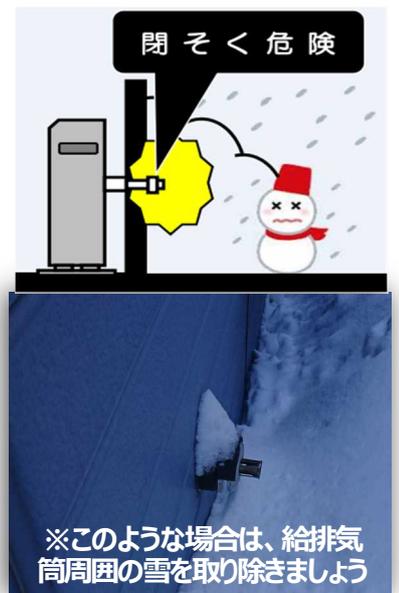
URL:[https://www.fdma.go.jp/publication/movie/juutaku\\_bouka/post-7.html](https://www.fdma.go.jp/publication/movie/juutaku_bouka/post-7.html)



## 給排気筒が雪に埋まっていますか？

### 給排気筒が雪で埋まるとどうなるの？

給排気筒が雪に埋もれた状態で使用すると、「**排気ガス**」が室内に流入したり、「**不完全燃焼**」を起こす原因となります。



### どうしたらいいの？

- 給排気筒の周辺は、こまめに除雪する！
- 給排気筒を定期的に点検・確認する！
- ※ 積雪だけでなく、鳥が巣をつくっていることなどもあります。

### 市民が主役の火災予防

- ① 火災予防行事・活動に参加しましょう
- ② 火災予防の知識・行動要領を身につけましょう
- ③ 消火器などの防災機器を備えましょう
- ④ 防災品を使用しましょう
- ⑤ 放火されない環境を作りましょう
- ⑥ 火災から高齢の方などを守りましょう

発行：札幌市消防局予防部予防課

〒064-8586 札幌市中央区南4条西10丁目

☎ 011-215-2040 SAPP\_RO

